

# 2004年度事業報告

## 1 概要

学会設立15周年を記念した人工知能学事典の編集が終了し2005年秋に出版されることになった。「知」の科学技術のフロンティアを紹介するシリーズ本「知の科学」は2005年1月より刊行が開始され、本年度は3冊出版された。また、全国大会の招待講演をストリーミング配信する新たな試みを実施された。このように、学会を活性化するために提案された新企画が次々に具体化された。

会員数の推移は、景気回復の兆しがみられるものの、正会員、学生会員、賛助会員、特殊購読会員のすべてで減少が続いている。とりわけ、賛助会員は海外のIT企業の日本法人の新規入会があったものの、学会設立以来の大口賛助会員の退会や口数減があり会費収入が減少しました。

隔月発行の「人工知能学会誌」は、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとにホットなテーマの特集、解説、連載記事や新たな企画で内容の充実がはかられた。また、論文は採録決定後直ちに(独)科学技術振興機構のJ-STAGEシステムに掲載するとともに、本年度も1年分の論文59編をまとめた人工知能学会論文誌Vol.19, 2004が発行された。なお、本年度より論文投稿を促進するため、査読を早くして差別化する対策が実施された。

第18回全国大会は6月2日から3日間にわたり金沢市の石川厚生年金会館で開催された。一般発表に294件の応募(口頭発表183件、デジタルポスタ発表18件、近未来チャレンジ54件、オーガナイズドセッション39件)があり、参加者は491名に達した。なお、養老孟司氏の招待講演は金沢市観光会館で一般公開し、地域の活性化に協力した。

国際交流活動の一環として、第3回セマンティックウェブ国際会議(ISWC2004)を11月に広島で、全国大会併設国際ワークショップを6月に金沢で開催した。前者には460名(海外30カ国から317名)、後者には152名(6カ国から21名)の参加があった。また、本年度も5月にロボカップ・ジャパンオープン2004を大阪で共催し、JSAI賞を贈呈した。

研究会は、それぞれの研究会開催の他に、他学会との合同研究会や全国大会でのオーガナイズドセッションを開催するなど活発な活動を行った。なお、各研究会で扱う研究テーマの見直しが行われ、「人工知能基礎論研究会」が「人工知能基本問題研究会」、「知的教育システム研究会」が「先進的学習科学と工学研究会」、「分子生物情報研究会」が「生命知識研究会」と名称を変更して新たな気持ちで再出発した。

セミナーは「コンピュータセキュリティとAI」というテーマで開催され好評であった。また、AI若手の集い(MYCOM)は本年度で5回目をむかえ、6月に琵琶湖湖畔で開催された。

2004年度の表彰では、功績賞1件、功労賞2件、論文賞1件、研究会優秀賞14件、全国大会優秀賞9件が選定された。

他学会との協調による学会活動の活性化と多様化を推進するため、国内外の人工知能関連の催し物を積極的に共催(4件)・協賛(61件)・後援(1件)した。

広報活動の一環として、ホームページの充実に注力すると同時に、非会員のメーリングリストへの登録を推進するなど、会員外の方々へのサービスの充実に注力した。

## 2 会員現況(2005年3月31日)

	本年度末 (平成17年3月31日)	前年度末 (平成16年3月31日)	増減数
正会員	2,730名	2,763名	33名減
学生会員	421名	456名	35名減
名誉会員	6名	6名	0
賛助会員	43社	47社	4社減
特殊購読会員	91団体	92団体	1団体減

### 3 会誌・論文誌の発行（会誌の発行部数：3,800）

#### 人工知能学会誌

第19巻 第3号（通巻105号）2004年5月1日発行 110頁

特集「WWW上の情報の知的アクセスのためのテキスト処理」，シリーズ特集「研究のツールボックス(1)」，解説「スキルサイエンス」，「情報推薦・情報フィルタリングのためのユーザプロファイリング技術」，連載「データマイニング実践家達の声：(1)データマイニング実用化の概念と展望，(2)マーケティングにおけるデータマイニングの利用」，論文アブストラクト，私のブックマーク「進化的計算」，他．

第19巻 第4号（通巻106号）2004年7月1日発行 117頁

新会長就任挨拶，特集「コピキタスコンピューティング」，解説「一般単一化理論」，レクチャー「AI研究者が学ぶ言語学の新展開」，連載「データマイニング実践家達の声：(3)マイニング技術を活用した金融業の与信モデルの現状と課題」，AIフロンティア論文「予見できない問題の処理とAIの意義」，論文特集「エージェントのアブストラクト」，論文アブストラクト，他．

第19巻 第5号（通巻107号）2004年9月1日発行 108頁

特集「法創造教育と人工知能」，小特集「サプライチェーンマネジメントと人工知能」，小特集「人工知能と福祉」，連載「データマイニング実践家達の声：(4)金融サービス・マーケティングにおけるデータマイニングの諸問題」，論文アブストラクト，私のブックマーク「対話ロボット」，他．

第19巻 第6号（通巻108号）2004年11月1日発行 111頁

特集「統計モデルと学習の数理」，特集「進化の周辺」，解説「情報福祉と人工知能への期待」，「すべての個人の最大幸福を支援するAI技術」，連載「データマイニング実践家達の声：(5)科学的根拠に基づく医療におけるデータマイニングの適用事例と今後の展望・課題について」，論文特集「Webコンテンツの知的処理のアブストラクト」，論文アブストラクト，私のブックマーク「情報検索」，他．

第20巻 第1号（通巻109号）2005年1月1日発行 142頁

特集「シナリオ創発」，シリーズ特集「研究のツールボックス(2)」，近未来チャレンジ卒業記念解説，連載「データマイニング実践家達の声：(6)データマイニングのビジネス応用における基幹系業務システムの課題」，レクチャーシリーズ「脳科学」(1)，特集「人工知能分野における博士論文」，論文アブストラクト，私のブックマーク「Web構造マイニングとWeb視覚化」，他

第20巻 第2号（通巻110号）2005年3月1日発行 107頁

特集「アクティブマイニング」，レクチャーシリーズ「脳科学」(2)，論文特集「近未来チャレンジのアブストラクト」，論文アブストラクト，他．

#### 人工知能学会論文誌の発行（2001年1月1日より会誌から分離して発行）

（独）科学技術振興機構のJ-Stageを利用してオンラインジャーナルを随時発行

- ・ Vol. 19 - 3： 3編（アブストラクトを会誌第19巻 第3号に掲載）
- ・ Vol. 19 - 4： 15編（アブストラクトを会誌第19巻 第4号に掲載）
- ・ Vol. 19 - 5： 10編（アブストラクトを会誌第19巻 第5号に掲載）
- ・ Vol. 19 - 6： 14編（アブストラクトを会誌第19巻 第6号に掲載）
- ・ Vol. 20 - 1： 8編（アブストラクトを会誌第20巻 第1号に掲載）
- ・ Vol. 20 - 2： 5編（アブストラクトを会誌第20巻 第2号に掲載）

ハードコピー版（保存版合本）

11月にVol. 19 - 1 からVol. 19 - 6 までの1年分の論文59編のハードコピーを1冊にまとめ，人工知能学会論文誌 Vol. 19, 2004 として発行した．

## 4 人工知能学事典と「知の科学」シリーズの出版

2002年度に設立された下記の委員会で事典とシリーズ本の編集が進められてきましたが、事典は2005年秋、シリーズ本は2005年1月より出版の運びとなった。

人工知能学事典編集委員会（2005年秋に刊行予定）

編集委員長 田中 穂積（中京大）

編集副委員長 石塚 満（東大）、溝口 理一郎（阪大）

編集幹事 沼尾 正行（阪大）、武田 英明（NII）、萩田 紀博（ATR）

丸山 文宏（富士通）、島津 秀雄（NEC）、

編集顧問 堂下 修司

「知の科学」シリーズ出版委員会（2005年1月より刊行開始）

委員長 石塚 満（東大）

委員 奥乃 博（京大）、折原 良平（東芝）、武田 英明（NII）、沼尾 雅之（IBM）

堀 浩一（東大）、松原 仁（はこだて未来大）

顧問 大須賀 節雄

既刊

・「進化論的計算手法」（2005年1月15日発行）伊庭 斉志 著

・「オントロジー工学」（2005年1月20日発行）溝口 理一郎 著

・「テキスト自動要約」（2005年3月25日発行）奥村 学・難波 英嗣 共著

## 5 全国大会（第18回）の開催

・日時：2004年6月2日（水）～6月4日（金）

・場所：石川厚生年金会館 ウェルシティ金沢（金沢市石引4-17-1）  
金沢市観光会館（金沢市下本多町6-27）

・組織：大会委員会，実行委員会，プログラム委員会，ローカル委員会

大会委員長 前田 章（日立製作所）

大会副委員長（実行委員長） 櫻井 彰人（慶応義塾大学）

大会副委員長（プログラム委員長） 橋田 浩一（産業技術総合研究所）

実行副委員長 中島 克人（東京電機大学）

プログラム副委員長 東条 敏（北陸先端科学技術大学院大学）

ローカル委員長 國藤 進（北陸先端科学技術大学院大学）

・構成：

特別講演：「健やかな知能」 養老 孟司（養老研究所）

基調講演：「知識メディアと情報知財のフェデレーション」 田中 譲（北海道大学）

AI レクチャー：

「ベイズネットの現在」 佐藤 泰介（東京工業大学）

「言語進化とはどのような問題か？」 橋本 敬（北陸先端科学技術大学院大学）

「人工市場入門」 和泉 潔（産業技術総合研究所）

CoBIT：「イベント空間情報支援プロジェクト情報サービス」 産業技術総合研究所

・一般発表申込件数 合計 294 件

・口頭発表 183 件

・デジタルポスタ発表 18 件

- ・近未来チャレンジ 54 件
- ・オーガナイズドセッション 39 件

・参加者：

参加者数：491 名	会員（326）		非会員（165）	
	一般	学生	一般	学生
発表参加者（268 名）	106 名	66 名	22 名	74 名
聴講参加者（223 名）	144 名	10 名	42 名	27 名

## 6 国際会議の開催

The 3<sup>rd</sup> International Semantic Web Conference: ISWC2004

- ・共 催：人工知能学会, ISWC Steering Committee
- ・日 時：2004 年 11 月 7 日（日）～11 日（木）
- ・場 所：広島プリンスホテル
- ・組織委員長：溝口理一郎（大阪大学，人工知能学会副会長）
- ・構 成：
  - チュートリアル 6 件
  - ワークショップ 8 件
  - 招待講演：Edward Feigenbaum(KSL, Stanford University, USA)
  - Wolfgang Nejdl(University of Hannover, Germany)
  - Marie-Christine Rousset(LRI, France)
  - 発表論文数：Academic paper 48 編
  - Industrial paper 7 編
  - Poster 論文 48 編
  - デモ 42 件
- ・参加者：460 名（海外 30 カ国 317 名，国内 143 名）

全国大会（第 18 回）併設国際ワークショップ（JSAI2004 International Workshops）

- ・主 催：人工知能学会
- ・日 時：2004 年 5 月 31 日（月）～6 月 1 日（火）
- ・場 所：石川厚生年金会館 ウェルシティ金沢（金沢市石引 4-17-1）
- ・テーマ：
  - WS1: First International Workshop on Emergence and Evolution of Linguistic Communication
  - WS2: First International Workshop on Life Science Grid (LSGRID2004)
  - WS3: Logic and Engineering of Natural Language Semantics
  - WS4: Third International Workshop on Active Mining (AM-2004)
- ・参加者：

参加者数：152 名	WS1	WS2	WS3	WS4
発表参加者（58 名）	15 名	24 名	8 名	11 名
聴講参加者（85 名）	13 名	39 名	6 名	27 名

## 7 研究会の開催

### 第1種研究会

人工知能基本問題研究会（旧人工知能基礎論研究会）（略称 SIG-FPAI）

主査：佐藤 健（国立情報学研究所）

幹事：鈴木 讓（阪大），庄司 裕子（中大），平田 耕一（九工大），  
吉岡 真治（北大），市瀬 龍太郎（NII）

- ・第56回（テーマ：「オントロジー」）  
期 日：2004年7月25日（日）～26日（月） 場所：万世閣（登別）  
発表13件，招待講演3件，参加者25名
- ・第57回（テーマ：「人工知能における論理の新たな展開」）  
期 日：2004年11月4日（木）～5日（金） 場所：京都屋（佐賀）  
発表7件，招待講演4件，参加者17名
- ・第58回（テーマ：「感性とインタラクション」および一般）  
期 日：2005年3月3日（木）～4（金） 場所：中央大学（東京都文京区）  
発表15件，招待講演3件，参加者46名

知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

主査：鷲尾 隆（阪大）

幹事：和泉 憲明（産総研），角所 考（京大），村田 剛志（NII），平野 章二（島根大）

- ・第65回（テーマ：「ネットワークが創発する知能」）  
期 日：2004年8月4日（水）～6日（金） 場所：メゾン軽井沢  
発表32件，招待講演1件，参加者68名  
（情報処理学会と共同開催）
- ・第66回（テーマ：「ヒューマンエージェントインタラクション」）  
期 日：2004年10月28日（木）～29日（金） 場所：メゾン軽井沢  
発表10件，参加者30名  
（情報処理学会，JAWS2004と共同開催）
- ・第67回（テーマ：「アクティブマイニング」）  
期 日：2004年12月4日（土）～7日（火） 場所：ハノイ工科大学  
発表44件，参加者54名  
（電子情報通信学会，情報処理学会と共同開催）
- ・第68回（テーマ：「セマンテック Web とソフトウェア工学」および一般）  
期 日：2005年1月24日（月）～25日（火） 場所：慶応大学（日吉校舎）  
発表22件，参加者68名  
（電子情報通信学会と共同開催）
- ・第69回（テーマ：「アクティブマイニング」および一般）  
期 日：2005年2月25日（金）～26日（土） 場所：淡路舞台国際会議場  
発表23件，参加者56名

言語・音声理解と対話処理研究会（略称 SIG-SLUD）

主査：土屋 俊（千葉大）

幹事：荒木 雅弘（京工繊大），宮崎 昇（NTT），堀内 靖雄（千葉大），矢野 博之（情通研）

- ・第41回（テーマ：「ロボット・エージェントとのコミュニケーション」および一般）  
期 日：2003年7月4日（金） 場所：けいはんな情通研  
発表9件，参加者43名
- ・第42回（テーマ：一般）  
期 日：2004年11月18日（木）～19日（金） 場所：香川大学  
発表12件，参加者31名

(電子情報通信学会と部分共同開催)

- ・第43回(テーマ:「一般」)  
期日:2005年3月4日(金) 場所:早稲田大学理工学部  
発表5件,参加者24名

先端的学习科学と工学研究会(旧知的教育システム研究会)(略称 SIG-ALST)

主査:伊東 幸宏(静大)

幹事:高岡 良行(東光精機),柏原 昭博(電通大),小西 達裕(静大)

- ・第41回(テーマ:「e-Learningにおける学習支援とコンテンツ開発」および一般)  
期日:2004年5月14日(金) 場所:NTT 武蔵野 RDC  
発表11件,参加者33名  
(電子情報通信学会と共同開催,IEEE Education Japan Chapter 協賛)
- ・第42回(テーマ:「セマンテック Web と e-Learning」および一般)  
期日:2004年11月6日(土) 場所:広島県情報プラザ  
発表8件,参加者37名  
(SWO研究会と連続開催,IEEE Education Japan Chapter 協賛)
- ・第43回(テーマ:「新しいデバイスを用いた学習・教育支援環境」および一般)  
期日:2005年3月15日(火)~16日(水) 場所:掛川・つま恋  
発表17件,参加者31名  
(IEEE Education Japan Chapter 協賛)

## 第2種研究会

AI チャレンジ研究会(略称 SIG-Challenge)

主査:奥乃 博(京都大学)

幹事:浅田 稔(阪大),中臺 一博(ホンダ),光永 法明(ATR)

- ・第19回(テーマ:「RoboCup 2004年 Japan Open」)  
期日:2004年5月1日(土)~4日(火) 場所:インテック大阪  
発表5件,参加者20名
- ・第20回(テーマ:「ロボット聴覚とロボット対話」)  
期日:2004年12月6日(月) 場所:京都大学  
発表8件,招待講演1件,参加者80名

生命知識研究会(旧分子生物情報研究会)(略称 SIG-BMK)

主査:小長谷 明彦(理化学研究所)

幹事:佐藤 賢二(北陸先端大),吉川 澄美(理研),福田 賢一郎(産総研)

- ・第1回  
期日:2004年8月19日(金)~20日(土) 場所:理研・鶴見  
発表8件,招待講演8件,参加者90名  
(理研 GSC シンポジウムと共同開催)
- ・第2回  
期日:2004年12月2日(木) 場所:産総研  
発表6件,参加者34名
- ・第3回  
期日:2005年3月11日(金)~12日(土) 場所:北陸先端大  
(オープンバイオ研究会と共同開催)  
発表10件,招待講演とパネル討論1件,参加者46名

ことば工学研究会(略称 SIG-LSE)

主査:阿部 明典(ATR)

幹事:大塚 裕子(計量研)

- ・第 17 回 (テーマ:「物語とコミュニケーション:その性質と生成」)  
期 日:2004 年 7 月 2 日(金)~3 日(土) 場所:山梨大学甲府校舎  
発表 9 件,招待講演 2 件,参加者 32 名
- ・第 18 回 (テーマ:「感性」)  
期 日:2004 年 11 月 12 日(金)~13 日(土) 場所:神奈川大学横浜校舎  
発表 4 件,招待講演 1 件,参加者 25 名
- ・第 19 回 (テーマ:「ことばで / から / に表現出来ること」)  
期 日:2005 年 3 月 5 日(金) 場所:関西大学千里山校舎  
発表 5 件,招待講演 1 件,参加者 16 名

#### セマンテックウェブとオントロジー研究会 (略称 SIG-SWO)

主査:溝口 理一郎(阪大),副主査:山口 高平(慶大)

幹事:武田 英明(NII),池田 満(北陸先端大),平松 薫(NTT),益岡 竜介(富士通研)

- ・第 6 回 (テーマ:「一般」)  
期 日:2004 年 7 月 2 日(金) 場所:東京  
発表 7 件,招待講演 1 件,参加者 130 名
- ・第 7 回 (テーマ:「一般」)  
期 日:2004 年 7 月 30 日(金) 場所:京都  
(電子情報通信学会,けいはんな Web Semantics 研究会と連続開催)  
発表 6 件,参加者 45 名
- ・第 8 回 (テーマ:「一般」)  
期 日:2004 年 11 月 6 日(土) 場所:広島  
(ALST 研究会と連続開催)  
発表 6 件,参加者 38 名
- ・第 9 回 (テーマ:「一般」)  
期 日:2005 年 3 月 25 日(金)~26 日(土) 場所:熱海  
発表 8 件,招待講演 1 件,参加者 23 名

## 8 シンポジウム/ワークショップの開催

### ロボカップジャパンオープン 2004 (共催)

期 日:2004 年 5 月 1 日(土)~4 日(火) 場所:インテックス大阪 2 号館

構 成:シミュレーションリーグ,ヒューマノイドリーグ,小型リーグ,  
中型リーグ,4 脚リーグ

JSAI 賞を贈呈

## 9 セミナーほか

### 第 47 回人工知能セミナー (テーマ:「コンピュータセキュリティと AI」)

期 日:2005 年 1 月 20 日(木) 10:00 ~ 16:30

場 所:機械振興会館 研修-2

#### プログラム:

- ・「AI 技術のセキュリティへの応用の概要」 岡田 浩之(東海大学)
- ・「AI 技術を用いたプライバシー保護」 沼尾 雅之(日本 IBM)
- ・「データマイニングに基づくセキュリティ技術」 山西 健司(NEC)
- ・「SPAM 検知技術とその応用」 吉田 健一(筑波大学)
- ・「セキュリティと AI 技術の融合の可能性」 板倉 征男(情報セキュリティ大学院大学)

参加者:43 名

## 第 5 回 AI 若手の集い (MYCOM2004)

期 日：2004 年 6 月 24 日 (木) ~ 25 日 (金)

場 所：琵琶湖コンファレンスセンタ

講 師：上田 一博 (東京大学大学院情報学環)

演 題「人間の知，機械の知：動的な認知観が人工知能を変える？」

構 成：一般発表 24 件，参加者 34 名

## 10 2004 年度の表彰

功績賞 (第 19 回全国大会で表彰の予定：2005 年 6 月 16 日)

学会規程に基づき，正会員による候補の推薦および功績賞選定委員会 (委員長：前田章副会長) の審査を経て，第 197 回理事会で下記の受賞者を選定した。

功績賞受賞者：田中 穂積 (中京大学)

功労賞 (第 19 回全国大会で表彰の予定：2005 年 6 月 16 日)

学会規程に基づき，正会員による候補の推薦および功労賞選定委員会 (委員長：前田章副会長) の審査を経て，第 197 回理事会で下記の受賞者を選定した。

功労賞受賞者：毛利 友治 (富士通研究所)

島津 秀雄 (NEC システムテクノロジー)

2004 年度学会論文賞 (第 19 回全国大会で表彰の予定：2005 年 6 月 16 日)

学会規程に基づき，論文誌第 19 巻第 1 号 ~ 第 6 号に発表された論文 (ショートノート，技術資料を含む) 56 編を対象に，正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会 (委員長：堀浩一理事) の審査を経て，第 197 回理事会で下記の論文を選定した。

- ・「カーネル法による計量書誌尺度の統一的解釈」

伊藤 敬彦，新保 仁，工藤 拓，松本 裕治

研究会優秀賞 (第 19 回全国大会で表彰の予定：2005 年 6 月 16 日)

学会規程に基づき，2004 年度の研究会で発表された論文を対象に，選定委員会 (委員長：相場亮理事) による審査を経て，第 197 回理事会で下記の 14 編の論文を選定した。

- ・「大規模系列データから代表的な頻出エピソードを発見する効率よいアルゴリズム」  
有村 博紀，宇野 毅明
- ・「ニュートン図形の極限同定とトーリック多様体の特異点解消」  
小林 正典，徳永 浩雄，山本 章博
- ・「Temporal logic in mining hepatitis data」  
T. B. Ho, S. Q. Le, C. H. Nguyen, S. Kawasaki, H. Yokoi and K. Takabayashi
- ・「部分構造の包含関係を指標とするグラフクラスタリングの提案」  
速水 亜希子，稲積 宏誠
- ・「定量的相関規則を用いたクラス分類手法の開発」  
中西 耕太郎，鷲尾 隆，藤本 敦，元田 浩
- ・「Web のトピックダイナミクスモデル」  
木村 昌弘，斉藤 和己，上田 修功

- ・「異文化コラボレーションにおける感情サポートキャラクターの効用」  
神田 智子
  - ・「Extended Study on Identification of Active Classes of Drugs by TFS-based Support Vector Machine」  
Y. Takahashi, S. Fujishima, K. Nishikoori, H. Kato and T. Okada
  - ・「ユビキタスセンサを用いた会話参与手続きの認識」  
坊農 真弓, 鈴木 紀子, 片桐 恭弘
  - ・「要素間の関連付け支援による知識統合プロセス支援」  
益川 弘如
  - ・「情報教育目標オントロジーの構築とその応用システム」  
笠井 俊信, 山口 晴久, 永野 和男, 溝口 理一郎
  - ・「聴覚フィードバック系を有する人間型発話ロボットの開発」  
福井 孝太郎, 西川 員史, 桑江 俊治, 秋山 隆行, 高信 英明, 持田 岳美  
誉田 雅彰, 高西 淳夫
  - ・「変奏からの物語生成への接近」  
小方 孝, 小林 史典
  - ・「環境の多様な利用のための実世界セマンティクスに関する考察」  
服部 正嗣, 平松 薫, 柳沢 豊, 山田 辰美, 岡留 剛, 佐藤 哲司
- 全国大会優秀賞（第18回全国大会で表彰：2004年6月3日）
- 投稿された論文を対象に大会関係者（プログラム委員、各セッションの座長、オーガナイザー）に候補論文の推薦をお願いし、選定委員会（橋田浩一プログラム委員長以下17名）により慎重かつ厳正に審議した結果、以下の9論文が最終候補として選定され、臨時の理事会において承認されましたので、各論文の筆頭著者に賞を贈呈した。
- ・「コミュニティシステムのためのパーソナルネットワークの利用とその分析」  
濱崎 雅弘
  - ・「タスクに埋め込まれたインタラクションを用いた人間と移動ロボットの協調掃除」  
小林 一樹
  - ・「適合フィードバックにおける非適合文書からの文書検索」  
村田 博士
  - ・「超越型誘導のための仮想都市シミュレータ」  
中西 英之
  - ・「QとCORMASの結合：多層マルチエージェントシミュレーションへの挑戦」  
鳥居 大祐
  - ・「内部ダイナミクスを持つエージェントによる動的な社会シミュレーション」  
佐藤 尚
  - ・「動作データからのモチーフの発見について」  
上原 邦昭
  - ・「固有空間におけるコンピュータシステムの障害検知」  
井手 剛
  - ・「設計情報の知的処理のためのタグ付け方法の検討」  
武田 英明

## 11 共催，協賛，後援などの催し物

以下のような依頼が理事会で承認（共催 4 件，協賛 61 件，後援 1 件）されたので，学会誌やホームページを利用して PR し，他学会との協調による学会活動の活性化および多様化を推進した．

### < 共催 > 4 件

- (01) 「ロボカップジャパンオープン 2004 大阪」ロボカップ日本委員会（16.5.1-4）
- (02) 「設計工学シンポジウム：関係のデザイン」日本学術会議（16.12.14-15）
- (03) 「2005 年情報学シンポジウム：社会システムを支える情報学」日本学術会議（17.1.20-21）
- (04) 「第 16 回計測連合シンポジウム：先端計測 2005」日本学術会議（17.8.8）

### < 協賛 > 61 件

- (01) 「第 23 回日本シミュレーション学会大会」日本シミュレーション学会（16.6.16-17）
- (02) 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2004」ヒューマンインタフェース学会（16.10.6-8）
- (03) 「システム・情報部門学術講演会 2004」計測自動制御学会（16.11.18-20）
- (04) 「講習会：医療技術における計測と制御」計測自動制御学会（16.6.17）
- (05) 「第 25 回バイオメカニズム学術講演会」バイオメカニズム学会（16.10.23-24）
- (06) 「カラーフォーラム JAPAN2004」光学四学会幹事会（16.11.16-18）
- (07) 「第 6 回 EAJ 国際シンポジウム：ロボットとの共生」日本工学アカデミー（16.10.4-5）
- (08) 「第 7 回情報論的学習理論ワークショップ IBIS2004」電子情報通信学会（16.11.8-10）
- (09) 「教育システム情報学会第 29 回全国大会」教育システム情報学会（16.8.20-22）
- (10) 「第 14 回インテリジェントシステムシンポジウム」日本知能情報ファジイ学会（16.10.9-10）
- (11) 「VR とマルチメディア（VSMM）国際会議 2004 岐阜」実行委員会（16.11.17-19）
- (12) 「シンポジウム：確率をてなずける計算技術」東工大知能システム科学専攻（16.9.6-7）
- (13) 「生体医工学シンポジウム 2004」日本エム・イー学会（16.9.29-30）
- (14) 「第 5 回 SICE 部門講演会 SI2004」計測自動制御学会（16.12.17-19）
- (15) 「システム制御情報セミナー」システム制御情報学会（16.10.4-5）
- (16) 「セミナー：現代制御理論入門」計測自動制御学会（16.9.13-14）
- (17) 「セミナー：実践的な制御系設計」計測自動制御学会（16.10.26）
- (18) 「セミナー：レスキューの現状と将来」日本ロボット学会（16.11.29）
- (19) 「講習会：最新のセキュリティシステム」システム制御情報学会（16.11.29-30）
- (20) 「シンポジウム：未来を拓くバイオインフォマティクス」文部科学省（16.10.1）
- (21) 「マイクロ接合・実装技術シンポジウム」溶接学会（17.2.3-4）
- (22) 「2005 ICME International Conference on Complex Medical Engineering-CME 2005」  
Institute of Complex Medical Engineering (ICME)（17.5.15-18）
- (23) 「第 17 回自律分散システムシンポジウム」計測自動制御学会（17.1.27-28）
- (24) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2005」日本機械学会（17.6.9-11）
- (25) 「講習会：最新のセキュリティシステム」システム制御情報学会（16.11.29-30）
- (26) 「シンポジウム：ケータイ・カーナビの利用性と人間工学」大会委員会（17.3.10-11）

- (27) 「マシンビジョン応用に関する IAPR 国際会議 MVA2005」実行委員会 (17.5.16-18)
- (28) 「講演会：たくましいモノづくり日本のために」日本機械学会 (16.11.29-12.1)
- (29) 「第3回アクティブメディア技術国際会議」実行委員会(17.5.19-21)
- (30) 「New Lifestyle Created by Intelligent Machines」21世紀 COE プログラム (16.10.3)
- (31) 「IT シンポジウム Info-Tech2004」関西情報・産業活性化センター (16.11.18)
- (32) 「第19回バイオメカニズム・シンポジウム」バイオメカニズム学会 (17.8.4-6)
- (33) 「インタラクション 2005」実行委員会 (17.2.28-3.1)
- (34) 「第6回日本感性工学会年次大会」日本感性工学会 (16.9.9-11)
- (35) 「IPAB シンポジウム 2004」並列生物情報処理イニシアティブ (16.12.3)
- (36) 「セミナー：実践的な制御理論」計測自動制御学会 (16.12.2-3)
- (37) 「シンポジウム：確率推論の数理」科研費特定領域研究 (16.12.6-8)
- (38) 「第4回産業技術交流会：ファジィ・誘・サロン」日本知能情報ファジィ学会 (17.1.8)
- (39) 「セミナー：ロバスト制御入門」計測自動制御学会(17.1.11-12)
- (40) 「第32回知能システムシンポジウム」計測自動制御学会 (17.3.17-18)
- (41) 「第23回日本ロボット学会学術講演会」日本ロボット学会 (17.9.15-17)
- (42) 「セミナー：ヒューマノイドの新展開」日本ロボット学会 (17.3.2)
- (43) 「SICE 関西支部学生研究発表会」計測自動制御学会 (17.3.7)
- (44) 「第10回機械翻訳サミット」アジア太平洋翻訳協会 (17.9.12-16)
- (45) 「人とロボットが共存するための最先端技術」精密工学会 (17.3.9)
- (46) 「3次元画像コンファレンス 2005」実行委員会 (17.7.7-8)
- (47) 「Dynamics and Design Conference 2005」日本機械学会 (17.8.22-25)
- (48) 「学術会議合同シンポジウム」日本学術会議 (17.4.6)
- (49) 「International Conference on Entertainment Computing 2005」IFIP (17.9.19-21)
- (50) 「セミナー：制御のためのシステム同定」計測自動制御学会 (17.3.10-11)
- (51) 「The Nineteenth International Conference IEA/AIE-2006」実行委員会 (17.6.27-30)
- (52) 「第15回設計工学・システム部門講演会」日本機械学会 (17.8.3-5)
- (53) 「第26回バイオメカニズム SOBIM2005」バイオメカニズム学会 (17.10.22-23)
- (54) 「講習会：ものづくりにおける計測・制御の最前線」計測自動制御学会 (17.6.17)
- (55) 「シンポジウム：実用化されるサービスロボットたち」日本ロボット学会 (17.4.28)
- (56) 「講習会：ロボットの作り方 2005」日本ロボット学会 (17.5.25-26)
- (57) 「第1回21世紀 COE8 大学拠点合同シンポジウム」実行委員会 (17.3.19)
- (58) 「第4回 ITS シンポジウム 2005」実行委員会 (17.12.1-2)
- (59) 「第48回自動制御連合講演会 / 第1回横幹連合コンフェレンス」SICE (17.11.26-26)
- (60) 「状態空間表現に基づく制御」システム制御情報学会 (17.6.7-8)
- (61) 「第4回 EcoDesign2005 国際会議」エコデザイン学会連合 (17.12.12-14)

<後援> 1件

- (01) 「第3回 Blog 勉強会」産総研サイバーアシスト研究センター (16.5.28)

## 12 会議

### 2004 年度第 19 回通常総会

表記総会を 2004 年 6 月 3 日（木）に金沢市の石川厚生年金会館で開催した。定款に定められた総会の構成員は役員 22 名と評議員 84 名の合計 106 名。出席者は 82 名（委任状を含む）で、定款 29 条に規定する定足数 53 名を越えているので、総会が有効であることを確認した。次に互選により田中穂積氏を議長に選び、以下の 6 議案の審議を行った。

- 第 1 号議案 2003 年度事業報告について
- 第 2 号議案 個人会員の除名について
- 第 3 号議案 2003 年度決算報告および監査報告について
- 第 4 号議案 2004 年度事業計画案について
- 第 5 号議案 2004 年度予算案
- 第 6 号議案 2004 年度役員・評議員構成案

その結果、全ての議案が原案通り承認された。

### 理事会

7 月、10 月を除く各月に計 10 回開催した。

### 委員会

時限委員会である ISWC（セマンティックウェブ国際会議）組織委員会、業績賞選定委員会はその責務を遂行し解散した。

本年度は、功績賞・功労賞選定委員会、活性化委員会が設立され活動を開始した。

一方、下記委員会は、それぞれ随時開催された。

会誌編集委員会、研究会運営委員会、研究集会審議委員会、企画委員会、全国大会委員会/同実行委員会/同プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、総務委員会、人工知能学事典編集委員会、出版委員会

## 13 規程などの制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および登記など

下記の通り、規程の制定および役員登記を行った。

- ・退職給与引当基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・活性化積立基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・事務所整備引当基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・会費未納分除却引当基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・国際活動積立基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・国際会議積立基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・記念事業積立基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・普及啓蒙活動積立基金に関する規程を 2004 年 5 月 21 日に制定
- ・ISWC 積立基金に関する規程を 2005 年 3 月 18 日に制定
- ・ISWC 返金引当基金に関する規程を 2005 年 3 月 28 日に制定
- ・社団法人 人工知能学会・新役員を 2004 年 7 月 22 日に登記

# 収 支 計 算 書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差額	備考
I				
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	17,547	17,547	0	
2 入金収入				
正会員入会金	200,000	246,000	46,000	
学生会員入会金	100,000	109,000	9,000	
入金収入合計	300,000	355,000	55,000	
3 会費収入				
正会員会費	27,000,000	27,300,000	300,000	
学生会員会費	1,800,000	1,684,000	-116,000	
賛助会員会費	8,000,000	8,240,000	240,000	
特殊購読会員年会費	1,320,000	1,365,000	45,000	
会費収入合計	38,120,000	38,589,000	469,000	
4 事業収入				
会誌別刷料	11,260,000	12,167,500	907,500	
会誌印税	797,160	664,300	-132,860	
事典印税	2,500,000	0	-2,500,000	
全国大会収入	6,467,500	5,778,000	-689,500	
全国大会(国際WS)	1,520,000	703,000	-817,000	
研究会登録料、他	2,378,000	2,511,000	133,000	
セミナー参加費	1,451,032	732,000	-719,032	
AIシンポジウム参加費他	1,520,000	0	-1,520,000	
会誌など頒布代	300,000	470,300	170,300	
JICST許諾料	180,000	181,860	1,860	
ISWC会議運営分担金	0	3,382,405	3,382,405	
出版物印税	0	67,944	67,944	
事業収入合計	28,373,692	26,658,309	-1,715,383	
5 補助金収入				
自治体補助金(全国大会)	570,000	600,000	30,000	
自治体補助金(全国大会国際WS)	1,800,000	1,800,000	0	
補助金合計	2,370,000	2,400,000	30,000	
6 雑収入				
会誌広告料	1,001,500	1,145,625	144,125	
会誌掲載料	360,000	398,000	38,000	
郵送料他	10,500	15,500	5,000	
受取利息	2,000	1,482	-518	
コピーライト	220,000	121,221	-98,779	
論文集頒布代	50,000	51,000	1,000	
雑収入合計	1,644,000	1,732,828	88,828	
7 特定預金取崩収入				
活性化積立金	2,520,243	1,789,032	-731,211	
普及啓蒙活動積立金	1,256,250	927,695	-328,555	
記念事業引当金	800,000	379,200	-420,800	
国際会議積立金	1,000,000	1,000,000	0	
特定預金取崩収入合計	5,576,493	4,095,927	-1,480,566	
補助金収入合計	2,370,000	2,400,000	30,000	
当期収入合計(A)	76,401,732	73,848,611	-2,553,121	
前期繰越収支差額	21,220,509	21,220,509		
収入合計(B)	97,622,241	95,069,120	-2,553,121	

科 目	予算額	決算額	差額	備考
II				
1 事業費				
会誌印刷費	12,600,000	11,155,464	-1,444,536	
会誌別刷印刷費	1,080,600	1,383,803	303,203	
会誌執筆謝礼	390,000	341,000	-49,000	
事典執筆謝礼・配布	1,600,000	0	-1,600,000	
会誌郵送費等発行諸経費	3,401,410	2,779,646	-621,764	
全国大会開催費	6,447,600	5,534,411	-913,189	
全国大会(国際WS開催費)	2,589,500	1,895,980	-693,520	
セミナー開催費	1,436,240	803,050	-633,190	
研究会開催費	2,581,000	2,953,074	372,074	
AIシンポジウム開催費	1,338,000	0	-1,338,000	
広報活動費	300,000	248,078	-51,922	
表彰費	150,000	83,601	-66,399	
活性化活動費	2,520,243	1,789,032	-731,211	
普及啓蒙活動費	1,256,250	927,695	-328,555	
記念事業活動費	800,000	379,200	-420,800	
国際会議費	1,000,000	1,000,000	0	
消費税	0	586,700	586,700	
事業費合計	39,490,843	31,860,734	-7,630,109	
2 管理費				
家賃	2,213,568	2,232,783	19,215	
共益費	368,928	368,928	0	
光熱費	230,000	197,200	-32,800	
リース料・保守・修理費	784,663	774,132	-10,531	
什器備品費	100,000	60,282	-39,718	
会議費	520,000	474,909	-45,091	
旅費交通費	120,000	25,770	-94,230	
通信・郵送費	2,011,580	1,641,286	-370,294	
印刷費	606,000	474,740	-131,260	
消耗品費	568,000	297,146	-270,854	
給料・手当	20,200,000	19,781,006	-418,994	
臨時雇用費	1,730,000	1,235,630	-494,370	
法定福利費	2,700,000	2,629,121	-70,879	
資料購入費	150,000	126,720	-23,280	
研修費	100,000	53,150	-46,850	
諸会費	165,400	165,400	0	
保険料	10,000	9,950	-50	
OA維持費	350,000	338,553	-11,447	
福利厚生費	45,000	40,170	-4,830	
会費引落経費	320,000	320,668	668	
支払い手数料	90,000	87,558	-2,442	
雑費	97,000	52,470	-44,530	
外為手数料	10,000	4,000	-6,000	
公認会計士費用	157,500	157,500	0	
管理費合計	33,647,639	31,549,072	-2,098,567	
3 その他の支出				
会費未納除却損	2,000,000	1,528,300	-471,700	
4 特定預金支出				
国際会議積立金	0	131	131	
退職金引当金	819,220	819,265	45	
会費未納除却分引当金	0	414	414	
事務所整備積立金	0	50	50	
記念事業引当金	0	4,000,271	4,000,271	
名簿発行準備金	0	8	8	
活性化積立金	0	1,500,082	1,500,082	
国際活動積立金	0	80	80	
普及啓蒙活動積立金	0	38	38	
ISWC会議積立金	0	1,691,203	1,691,203	
特定預金支出合計	819,220	8,011,542	7,192,322	
当期支出合計(C)	75,957,702	72,949,648	-3,008,054	
当期収支差額(A)-(C)	444,030	898,963	454,933	
次期繰越収支差額(B)-(C)	21,664,539	22,119,472	454,933	

正味財産増減計算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

科 目	金 額	
増加原因の部		
1 基本財産運用収入		
基本財産利息収入	17,547	17,547
2 入金収入		
正会員入会金	246,000	
学生会員入会金	109,000	355,000
3 会費収入		
正会員会費	27,300,000	
学生会員会費	1,684,000	
賛助会員会費	8,240,000	
特殊購読会員年会費	1,365,000	38,589,000
4 事業収入		
会誌別刷料	12,167,500	
会誌印税	664,300	
全国大会収入	5,778,000	
全国大会(国際WS)	703,000	
研究会登録料、他	2,511,000	
セミナー参加費	732,000	
AIシンポジウム参加費	0	
会誌など頒布代	470,300	
JICST許諾料	181,860	
ISWC会議運営分担金	3,382,405	
出版物印税	67,944	26,658,309
5 補助金収入		
自治体補助金(全国大会)	600,000	
自治体補助金(全国大会収入)	1,800,000	2,400,000
6 雑収入		
会誌広告料	1,145,625	
会誌掲載料	398,000	
郵送料他	15,500	
受取利息	1,482	
コピーライト	121,221	
論文集頒布代	51,000	1,732,828
合 計		69,752,684

科 目	金 額	
減少原因の部		
1 事業費		
会誌印刷費	11,155,464	
会誌別刷印刷費	1,383,803	
会誌執筆謝礼	341,000	
事典執筆謝礼・配布	0	
会誌郵送費等発行諸経費	2,779,646	
全国大会開催費	5,534,411	
全国大会(国際WS)	1,895,980	
セミナー開催費	803,050	
研究会開催費	2,953,074	
AIシンポジウム開催費	0	
広報活動費	248,078	
表彰費	83,601	
消費税	586,700	27,764,807
2 管理費		
家賃	2,232,783	
共益費	368,928	
光熱費	197,200	
リース料・保守・修理費	774,132	
什器備品費	60,282	
会議費	474,909	
旅費交通費	25,770	
通信・郵送費	1,641,286	
印刷費	474,740	
消耗品費	297,146	
給料・手当	19,781,006	
臨時雇用費	1,235,630	
法定福利費	2,629,121	
資料購入費	126,720	
研修費	53,150	
諸会費	165,400	
保険料	9,950	
OA維持費	338,553	
福利厚生費	40,170	
会費引落経費	320,668	
支払い手数料	87,558	
雑費	52,470	
外為手数料	4,000	
公認会計士費用	157,500	31,549,072
3 会費未納除却損		1,528,300
4 特定預金支出		
国際会議積立金	131	
退職金引当金	819,265	
会費未納除却分引当金	414	
事務所整備積立金	50	
記念事業引当金	4,000,271	
名簿発行準備金	8	
活性化積立金	1,500,082	
国際活動積立金	80	
普及啓蒙活動積立金	38	
ISWC会議積立金	1,691,203	8,011,542
合 計		68,853,721
当期正味財産増加額		898,963
前期繰越正味財産額		21,220,509
期末正味財産合計額		22,119,472

# 貸借対照表

平成17年3月31日

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金	418,287	
預貯金	30,861,742	
未収金	4,309,711	
前払金	294,688	
流動資産合計		35,884,428
2 固定資産		
基本財産		
定期預金	35,000,000	
その他の固定資産		
入居保証金	4,344,000	
電話加入権	220,584	
担保金	777,000	
定期預金等	57,828,989	
その他の固定資産合計	63,170,573	
固定資産合計		98,170,573
資 産 合 計		134,055,001
負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,189,214	
前受金	10,096,000	
預り金	1,215,002	
仮受金	264,740	
流動負債合計		13,764,956
2 固定負債		
国際会議積立金	13,035,438	
退職金引当金	5,475,159	
会費未納分除却引当金	2,894,265	
事務所整備積立金	1,407,640	
記念事業引当金	11,640,659	
名簿発行準備金	806,781	
活性化積立金	7,993,137	
国際活動積立金	9,810,746	
普及啓蒙活動積立金	3,073,961	
ISWC会議積立金	1,691,203	
固定負債合計		57,828,989
負 債 合 計		71,593,945
正味財産の部		
正味財産		62,461,056
(うち基本金)		(35,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(898,963)
負債及び正味財産合計		134,055,001

## 計算書類に関する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 引当金の計上基準について  
退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (2) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載するとおりである。

### 2. 今期の会計処理について

- (1) ISWC返金預り金は未収金と預り金に両建てで、勘定されている。
- (2) 前々事業年度の課税売上高が一千万円を超過した為、課税事業者として消費税を計上した。

### 3. 基本財産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	35,000,000	—	—	35,000,000

### 4. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	27,611,548	31,280,029
未収金	5,937,021	4,309,711
前払金	450,380	294,688
合計	33,998,949	35,884,428
前受金	11,153,000	10,096,000
未払金	1,134,575	2,189,214
預り金	213,065	1,215,002
仮受金	277,800	264,740
合計	12,778,440	13,764,956
次期繰越収支差額	21,220,509	22,119,472

### 5. 資産及び負債の科目別増加額及び減少額

科目	金額
1 増加の部	
(1) 資産増加額	
現金・預金	3,668,481
特定資産	3,915,615
(2) 負債減少額	
前受金	1,057,000
仮受金	13,060
増加額合計	8,654,156
2 減少の部	
(1) 資産減少額	
未収金	1,627,310
前払金	155,692
(2) 負債増加額	
未払金	1,054,639
預り金	1,001,937
固定負債	3,915,615
減少額合計	7,755,193
当期正味財産増加額	898,963

# 2005年度事業計画(案)

## 1 運営・活動方針

定款の目的に沿って、以下の事業を行う。

- ・人工知能学会誌，人工知能学会論文誌，人工知能学事典，シリーズ本等の発行
- ・全国大会（第19回），研究会，AIシンポジウム，人工知能セミナー，国際ワークショップ，若手の集い等の開催
- ・業績賞，論文賞，研究会優秀賞・全国大会優秀賞等の表彰
- ・他学会や海外関連団体との連絡・協力による学会活動の活性化ならびに多様化の推進
- ・組織基盤の強化・拡充による会員サービスの向上

2002年に編集作業がスタートした人工知能学事典は，この秋に出版する。

会誌は，引き続き本年度も魅力ある雑誌作りを目指して，タイムリーなテーマの特集記事や解説などで内容の充実をはかる。論文誌は，論文特集を積極的に企画して投稿論文の増加を図る。採録された論文は直ちに（独）科学技術振興機構のJ-STAGEシステムに掲載する。なお，2005年度も1年分の論文をまとめた人工知能学会論文誌 Vol.20, 2005 を発行する。

全国大会は2005年6月15日（水）から6月17日（金）の3日間，北九州市の国際会議場で開催する。また，同会場にて併設の国際ワークショップを6月13日（月）と14日（火）の2日間開催し，国際交流活動を推進する。

研究会は，本年度も8研究会で通常の研究会の開催のほかに，他学会との共催研究会を開催して活性化・多様化を図る。また，最新のテーマをタイムリーに選んで実施するAIシンポジウムは「実用化に向けて動き始めたセマンティック Web」と題して開催する。

定例行事のAI若手の集い（MYCOM）は第6回を京都の妙心寺塔頭で開催する。

人工知能セミナーは，最新の話題を選んで3回開催する。

ホームページとメーリングリストを介した広報活動を通して新規入会者の勧誘を行う。

2006年度に学会設立20周年をむかえるので，20周年記念事業委員会を結成して記念事業を企画する。また，活性化委員会は2006年度以降の学会運営に関する基本方針を検討し答申する。

## 2 会誌・論文誌の発行

### 人工知能学会誌の発行

第20巻 第3号（通巻111号）2005年5月1日発行

特集「ネットワークが創発する知能」，「人工知能学事典の制作話とお知らせ」，レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(3)，論文特集「人間と共生する情報システム」のabstract，論文abstract，他。

第20巻 第4号（通巻112号）2005年7月1日発行

特集「意図研究のスペクトル」，「使えるAI，がんばるAI」，解説「検索エンジンから分析エンジンへ」，アーティクル「CASP6」，レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(4)，論文abstract，他。

第20巻 第5号（通巻113号）2005年9月1日発行

特集「スキルサイエンス」，「日常生活にとけこむデジタルヒューマン」，「ネットワークベース意思決定支援」，解説「オントロジー構築のための実在論的方法論」，レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(5)，論文特集「オントロジー」のabstract，論文abstract，他。

第20巻 第6号（通巻114号）2005年11月1日発行

シリーズ特集「研究のツールボックス」(3)，特集「セマンティック Web サービス」，レ

クチャーシリーズ第4弾「脳科学」(6), 論文アブストラクト, 他.

第21巻 第1号(通巻115号)2006年1月1日発行

特集「宇宙とAI」「学習科学関連」「感性とAI」, 2005年度博士論文特集, 第4弾特集「シナリオ創発」, 連載「データマイニング実践家達の声」, 博士論文特集, レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(7), 論文アブストラクト, 他.

第21巻 第2号(通巻116号)2006年3月1日発行

特集「未定」, レクチャーシリーズ第4弾「脳科学」(8), 論文特集「近未来チャレンジ」のアブストラクト, 論文アブストラクト, 他.

人工知能学会論文誌 Vol. 20, 2005 の発行(2001年1月1日より会誌から分離して発行)

(独) 科学技術振興機構の J-Stage を利用してオンラインジャーナルを随時発行

- ・ Vol. 20-3: xx 編 (アブストラクトを会誌第20巻 第3号に掲載)
- ・ Vol. 20-4: xx 編 (アブストラクトを会誌第20巻 第4号に掲載)
- ・ Vol. 20-5: xx 編 (アブストラクトを会誌第20巻 第5号に掲載)
- ・ Vol. 20-6: xx 編 (アブストラクトを会誌第20巻 第6号に掲載)
- ・ Vol. 21-1: xx 編 (アブストラクトを会誌第21巻 第1号に掲載)
- ・ Vol. 21-2: xx 編 (アブストラクトを会誌第21巻 第2号に掲載)

ハードコピー版(保存版合本)

12月に Vol. 20-1 から Vol. 20-6 までの1年分の論文のハードコピーを1冊にまとめて発行する予定.

### 3 出版事業

人工知能学事典: 2005年秋に出版予定

「知の科学」シリーズ: 2005年1月より配本開始

### 4 全国大会(第19回)の開催

- ・ 日 時: 2005年6月15日(水)~6月17日(金)
- ・ 場 所: 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野 3-9-30)
- ・ 組 織: 大会委員会, 実行委員会, プログラム委員会, ローカル委員会  
大会委員長 瀧口 理一郎(大阪大学)  
大会副委員長(実行委員長) 中島 克人(東京電機大学)  
大会副委員長(プログラム委員長) 東条 敏(北陸先端科学技術大学院大学)  
実行副委員長 磯崎 秀樹(日本電信電話)  
プログラム副委員長 武田 英明(国立情報学研究所)  
ローカル委員長 竹内 章(九州工業大学)  
ローカル副委員長 大貝 晴俊(早稲田大学)
- ・ 構 成:  
特別講演: 「Artificial Intelligence and Web Search: Opportunities for Symbiosis」  
Mehran Sahami 氏(グーグル社)  
基調講演: 「人工知能が目指すもの」 後藤 敏(早稲田大学)  
AI レクチャー:  
「近未来チャレンジ5年連続サバイバルのノウハウ」矢入 郁子(情報通信研究機構)  
「人工知能分野におけるオークション研究」 横尾 真(九州大学)  
「セマンテック Web と記述論理」 兼岩 憲(産業技術総合研究所)

大会支援プロジェクトの実演

ワーキンググループ

併設国際ワークショップ(JSAI2005 International Workshops) : 国際会議の項に記載

一般発表申込件数	合計 296 件
・口頭発表	198 件
・デジタルポスタ発表	9 件
・近未来チャレンジ	32 件
・オーガナイズドセッション	57 件

## 5 国際会議の開催

全国大会併設国際ワークショップ

- ・主 催 : 人工知能学会
- ・日 時 : 2005 年 6 月 13 日 ( 月 ) ~ 14 日 ( 火 )
- ・場 所 : 北九州国際会議場 ( 北九州市小倉北区浅野 3-9-30 )
- ・テーマ :
  - WS1 : Logic and Engineering of Natural Language Semantics 2005 (LENLS2005)
  - WS2 : Learning with Logics and Logics for Learning (LLLL)
  - WS3 : Agent Network Dynamics and Intelligence (ANDI)
  - WS4 : Conversational Informatics
  - WS5 : Risk Management Systems with Intelligent Data Analysis
- ・参加者 : 150 名 ( 海外 15 名 , 国内 135 名 ) 以上の予定

## 6 研究会の開催

第 1 種研究会

人工知能基本問題研究会 ( 略称 SIG-FPAI )

- 第 59 回 07 月 種子島 テーマ「宇宙と AI および一般」
- 第 60 回 11 月 北陸 テーマ「暗黙知および一般」
- 第 61 回 03 月 九州 テーマ「設計知識および一般」

知識ベースシステム研究会 ( 略称 SIG-KBS )

- 第 70 回 08 月 東京 テーマ「Web Intelligence および一般」
- 第 71 回 11 月 箱根 テーマ「Human Agent Interaction」  
( JAWS 特別セッション , 情報処理学会 , 電子情報通信学会との共催 )
- 第 72 回 01 月 未定 テーマ「リスク回避システムとデータ知能学」  
( 電子情報通信学会との共催 )
- 第 73 回 01 月 未定 テーマ「データマイニングと一般」

言語・音声理解と対話処理研究会 ( 略称 SIG-SLUD )

- 第 44 回 06 月 京都 テーマ「一般」
- 第 45 回 11 月 長崎 テーマ「未定」
- 第 46 回 03 月 東京 テーマ「未定」

先進的学習科学と工学研究会 ( 略称 SIG-ALST )

- 第 44 回 05 月 東京 テーマ「e-Learning と基盤技術」  
( 電子情報通信学会と共同開催 , IEEE Education Japan Chapter 協賛 )

- 第45回 11月 会場 テーマ「未定」  
 (IEEE Education Japan Chapter 協賛)  
 第46回 03月 関西 テーマ「未定」  
 (IEEE Education Japan Chapter 協賛)  
 若手の会 12月中旬 会場・テーマ：未定

## 第2種研究会

AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

- 第21回 05月 東京 テーマ「RoboCup 特集」  
 第22回 11月 伊豆 テーマ「ロボット聴覚特集」

生命知識研究会 (略称 SIG-BMK)

- 第4回 05月 東京 テーマ「未定」  
 第5回 10月 東京 テーマ「未定」  
 第6回 03月 金沢 テーマ「未定」

ことば工学研究会 (略称 SIG-LSE)

- 第20回 07月 山梨 テーマ「未定」  
 第21回 11月 関西 テーマ「未定」  
 第22回 03月 横浜 テーマ「未定」

セマンテックウェブとオントロジー研究会 (略称 SIG-SWO)

- 第10回 7月 東京 テーマ「未定」  
 第11回 11月 京都 テーマ「未定」  
 第12回 3月 箱根 テーマ「未定」

## 7 シンポジウム・ワークショップの開催

第20回 AI シンポジウム (テーマ:「実用化に向けて動き始めたセマンティック Web」)

期 日: 2005年4月25日(月) 9:30-17:30

場 所: 慶應義塾大学・日吉キャンパス・来往舎・シンポジウムスペース

プログラム:

- ・「セマンティック Web プとオントロジー工学」 溝口 理一郎(大阪大学)
- ・「オントロジー構築ツールの現状」 古崎 晃司(大阪大学)
- ・「メタデータを活用したポータルサイトの構築」 平松 薫 (NTT)
- ・「メタデータを用いたコミュニケーション支援」 武田 英明 (NII)
- ・「ユビキタスサービスファインダー」 川村 隆浩 (東芝)
- ・「セマンティック Web サービスによるロケット打上支援システム」 小出 誠二 (ギャラクシーエクスプレス)

第21回 AI シンポジウム

期 日: 2006年3月頃

場 所: 未定

RoboCup 2005 OSAKA (共催)

期 日: 2005年7月13日(水)~19日(火) 場所: インテックス大阪

構 成: サッカーリーグ, レスキューリーグ, ジュニアリーグなど

JSAI 賞の贈呈

## 8 セミナーなどの開催

第 48 回人工知能セミナー（テーマ：「脳科学と人工知能」）

期 日：2005 年 4 月 19 日（火） 10:00～16:30

場 所：慶応義塾大学 日吉キャンパス・来往舎・大会議室

プログラム：

- ・「脳に学ぶことを通じて非自明な情報処理機構を創造する」岡本 洋（富士ゼロックス）
- ・「身体性人工知能イメージに基づく自律的意味理解」月本 洋（東京電機大）
- ・「内省的過程と直感的過程に基づく身体化による認知」乾 敏郎（京大）
- ・「認知力学系で考えるロボットの学習行動」谷 淳（理化学研究所）
- ・「最適制御のための意思決定機構」石井 信（奈良先端大）

第 49 回人工知能セミナー（テーマ：「インタラクション」）

期 日：2005 年 11 月頃

場 所：未定

第 50 回人工知能セミナー

詳細未定

第 6 回 AI 若手の集い MYCOM2005

期 日：2005 年 6 月 3 日（金）～4 日（土）

場 所：京都 妙心寺大心院

講 師：出口 弘 氏（東京工業大学大学院）

演題「人工知能研究者が社会に関する視座を確立するために」

## 9 2005 年度の表彰

学会規程に基づき 2005 年度は以下の賞を贈呈する。

業績賞  
論文賞  
研究会優秀賞  
全国大会優秀賞

## 10 共催，協賛，後援など

昨年度に引き続き，他学会との協調により学会活動の活性化，多様化を推進する。

## 11 会議

2005 年度第 20 回通常総会

6 月 16 日（木）北九州市・北九州国際会議場

理事会

6 月，10 月を除く各月に計 10 回開催

委員会

会誌編集委員会，研究会運営委員会，企画委員会，全国大会委員会/実行委員会/プログラム委員会，広報委員会，財務委員会，総務委員会，業績賞選定委員会，人工知能学事典編集委員会，出版委員会，活性化委員会，20 周年記念事業委員会をそれぞれ随時開催する。

**12 規程など制定・改正・廃止，契約締結，覚書交換および認可など**

- ・個人情報保護ポリシー（2005/10）
- ・社団法人 人工知能学会・新役員登記（2005/07）

**13 2005 年度役員構成（案）**

別紙参照

**14 2005 年度評議員構成（案）**

別紙参照

# 収 支 予 算 書 (案)

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I				
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	10,500	17,547	-7,047	
2 入会金収入				
正会員入会金	240,000	200,000	40,000	
学生会員入会金	95,000	100,000	-5,000	
入会金収入合計	335,000	300,000	35,000	
3 会費収入				
正会員会費	27,000,000	27,000,000	0	
学生会員会費	1,600,000	1,800,000	-200,000	
賛助会員会費	7,200,000	8,000,000	-800,000	
特殊購読会員年会費	1,350,000	1,320,000	30,000	
会費収入合計	37,150,000	38,120,000	-970,000	
4 事業収入				
会誌別刷料	9,370,000	11,260,000	-1,890,000	
会誌印税	797,160	797,160	0	
事典印税	2,000,000	2,500,000	-500,000	
全国大会収入	5,925,000	6,467,500	-542,500	
全国大会(国際WS)	700,000	1,520,000	-820,000	
研究会登録料他	2,384,500	2,378,000	6,500	
セミナー参加費	1,435,000	1,451,032	-16,032	
AIシンポジウム参加費他	2,280,000	1,520,000	760,000	
会誌など頒布代	450,000	300,000	150,000	
JICST許諾料	170,000	180,000	-10,000	
出版物印税	107,730	0	107,730	
事業収入合計	25,619,390	28,373,692	-2,754,302	
5 雑収入				
会誌広告料	1,001,500	1,001,500	0	
会誌掲載料	360,000	360,000	0	
郵送料他	15,500	10,500	5,000	
受取利息	600	2,000	-1,400	
コピーライト	150,000	220,000	-70,000	
論文集頒布代	50,000	50,000	0	
雑収入合計	1,577,600	1,644,000	-66,400	
6 特定預金取崩収入				
活性化積立金	1,408,000	2,520,243	-1,112,243	
普及啓蒙活動積立金	904,500	1,256,250	-351,750	
記念事業引当金	5,000,000	800,000	4,200,000	
国際会議積立金	400,000	1,000,000	-600,000	
特定預金取崩収入合計	7,712,500	5,576,493	2,136,007	
7 補助金収入				
自治体補助金(全国大会)	1,200,000	570,000	630,000	
自治体補助金(全国大会国際WS)	500,000	1,800,000	-1,300,000	
補助金収入合計	1,700,000	2,370,000	-670,000	
当期収入合計(A)	74,104,990	76,401,732	-2,296,742	
前期繰越収支差額	22,119,472	21,220,509		
収入合計(B)	96,224,462	97,622,241	-1,397,779	

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
II				
1 事業費				
会誌印刷費	11,400,000	12,600,000	-1,200,000	
会誌別刷印刷費	990,800	1,080,600	-89,800	
会誌執筆謝礼	390,000	390,000	0	
事典執筆謝礼・配布	0	1,600,000	-1,600,000	
会誌郵送費等発行諸経費	2,578,300	3,401,410	-823,110	
全国大会開催費	4,913,000	6,447,600	-1,534,600	
全国大会(国際WS開催費)	2,922,000	2,589,500	332,500	
研究会開催費	2,525,354	2,581,000	-55,646	
セミナー開催費	1,376,644	1,436,240	-59,596	
AIシンポジウム開催費	1,242,210	1,338,000	-95,790	
広報活動費	0	300,000	-300,000	
表彰費	104,676	150,000	-45,324	
活性化活動費	1,408,000	2,520,243	-1,112,243	
普及啓蒙活動費	904,500	1,256,250	-351,750	
記念事業活動費	5,000,000	800,000	4,200,000	
国際会議費	400,000	1,000,000	-600,000	
消費税	600,000	0	600,000	
事業費合計	36,755,484	39,490,843	-2,735,359	
2 管理費				
家賃	2,121,336	2,213,568	-92,232	
共益費	368,928	368,928	0	
光熱費	200,000	230,000	-30,000	
リース料・保守・修理費	349,415	784,663	-435,248	
什器備品費	50,000	100,000	-50,000	
会議費	516,000	520,000	-4,000	
旅費交通費	40,000	120,000	-80,000	
通信・郵送費	1,901,440	2,011,580	-110,140	
印刷費	440,500	606,000	-165,500	
消耗品費	499,450	568,000	-68,550	
給料・手当	20,400,000	20,200,000	200,000	
臨時雇用費	1,910,000	1,730,000	180,000	
法定福利費	2,800,000	2,700,000	100,000	
資料購入費	139,412	150,000	-10,588	
研修費	100,000	100,000	0	
諸会費	165,400	165,400	0	
保険料	0	10,000	-10,000	
OA維持費	250,000	350,000	-100,000	
福利厚生費	45,000	45,000	0	
会費引落経費	320,000	320,000	0	
支払い手数料	90,000	90,000	0	
雑費	70,000	97,000	-27,000	
外為手数料	0	10,000	-10,000	
公認会計士費用	300,000	157,500	142,500	
管理費合計	33,076,881	33,647,639	-570,758	
3 その他の支出				
会費未納除却損	2,000,000	2,000,000	0	
4 特定預金支出				
国際会議積立金	0	0	0	
退職金引当金	1,606,193	819,220	786,973	
会費未納除却分引当金	0	0	0	
事務所整備積立金	0	0	0	
記念事業引当金	0	0	0	
名簿発行準備金	0	0	0	
活性化積立金	0	0	0	
国際活動積立金	0	0	0	
普及啓蒙活動積立金	0	0	0	
特定預金支出合計	1,606,193	819,220	786,973	
当期支出合計(C)	73,438,558	75,957,702	-2,519,144	
当期収支差額(A)-(C)	666,432	444,030	222,402	
次期繰越収支差額(B)-(C)	22,785,904	21,664,539	1,121,365	

## 2005年度人工知能学会役員構成（案）

全員：非常勤

役職名	種別	氏名	所 属
会 長	留任	石塚 満	東京大学大学院 情報理工学系研究科 電子情報学専攻
副会長	留任	溝口 理一郎	大阪大学 産業科学研究所 知識システム研究分野
副会長	新任	浅川 和雄	(株)富士通研究所 ITメディア研究所
理 事	新任	秋山 泰	産業技術総合研究所 生命情報科学研究センター
理 事	留任	磯崎 秀樹	日本電信電話(株)コミュニケーション科学基礎研究所 知能情報研究部
理 事	留任	内平 直志	(株)東芝 研究開発センター
理 事	留任	浦本 直彦	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所
理 事	新任	奥村 明俊	日本電気(株) メディア情報研究所
理 事	留任	栗田 多喜夫	産業技術総合研究所 脳神経情報研究部門
理 事	新任	関口 実	(株)富士通研究所 コピキタスシステム研究センター
理 事	留任	武田 英明	国立情報学研究所 実証研究センター
理 事	新任	竹林 洋一	静岡大学 情報学部 情報科学科
理 事	新任	辻野 克彦	三菱電機(株) 先端技術総合研究所
理 事	新任	辻野 広司	(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン
理 事	新任	寺野 隆雄	東京工業大学 知能システム科学専攻
理 事	新任	長尾 確	名古屋大学 工学研究科 情報工学専攻
理 事	留任	沼尾 正行	大阪大学 産業科学研究所 知能アーキテクチャー研究部門
理 事	新任	久光 徹	(株)日立製作所 医療事業統括本部
理 事	留任	堀 浩一	東京大学 先端学際工学専攻 知能工学講座
理 事	留任	山口 高平	慶應義塾大学 理工学部 管理工学科
監 事	留任	林 英也	沖コンサルティングソリューションズ(株)
監 事	新任	大河内 正明	日本アイ・ピー・エム(株) 技術・コンピテンシー開発

(理事は五十音順, 敬称略)

## 2005年度評議員構成（案）

氏名	種別	所屬
赤埴 淳一	再任	日本電信電話(株) 第三部門 プロデュース担当
秋吉 政徳	新任	三菱電機(株) 先端技術総合研究所 システム基礎研究所
浅田 稔	留任	大阪大学 大学院 工学研究科 知能・機能創成工学専攻
麻生 英樹	留任	産業技術総合研究所 情報処理研究部門
有村 博紀	再留任	北海道大学 大学院 情報科学研究科 コンピュータ工学専攻
池田 満	留任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
井佐原 均	留任	(独)情報通信研究機構 関西先端研究センター 知的機能研究室
石川 泰	留任	三菱電機(株) 情報技術総合研究所
石田 亨	再留任	京都大学 大学院 情報学研究科 社会情報学専攻
市吉 伸行	新任	(株)三菱総合研究所 情報技術研究部
伊藤 英則	再留任	名古屋工業大学 工学部 知能情報システム学科
伊藤 史朗	再留任	キヤノン(株) PF技術開発センター
井上 克巳	再留任	国立情報学研究所 研究系
伊庭 斉志	留任	東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 基盤情報学専攻
岩橋 直人	留任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 音声言語コミュニケーション研究所
上田 和紀	再留任	早稲田大学 理工学部 C S 学科
江島 俊朗	再留任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学教室
大内 東	留任	北海道大学 工学部 情報工学科 システム工学講座
大貝 晴俊	再任	早稲田大学 大学院 情報生産システム研究科
大和田 勇人	再留任	東京理科大学 理工学部 経営工学科
岡 夏樹	再任	京都工芸繊維大学 工芸学部 電子情報工学科
荻野 紫穂	留任	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所
奥乃 博	新任	京都大学 大学院 情報学研究科 知能情報学専攻
奥村 学	再留任	東京工業大学 精密工学研究所
鬼澤 武久	留任	筑波大学 機能工学系
小野田 崇	新任	(財)電力中央研究所 システム技術研究所
折原 良平	新任	(株)東芝研究開発センター 知識メディアラボラトリ
柏原 昭博	新任	電気通信大学 電気通信学部 情報通信工学科
片桐 恭弘	再留任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 メディア情報学研究所
加藤 恒昭	留任	東京大学 大学院 総合文化研究科 言語情報科学専攻
河原 達也	留任	京都大学 学術情報メディアセンター
黄瀬 浩一	留任	大阪府立大学 大学院 工学研究科 情報工学分野
北上 始	留任	広島市立大学 情報科学部 知能情報システム工学科
北村 泰彦	再任	関西学院大学 理工学部
清野 正樹	再留任	松下電器産業(株) 先端技術研究所 知能情報技術研究所
國藤 進	再留任	北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科
桑原 和宏	再留任	(株)国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所
小長谷 明彦	留任	理化学研究所 横浜研究所 ゲル科学総合研究センター 情報科学
小西 達裕	新任	静岡大学 情報学部 情報科学科
櫻井 彰人	留任	慶応義塾大学 理工学部 管理工学科
佐藤 泰介	再任	東京工業大学 大学院 情報理工学研究科 計算機工学専攻
柴田 博仁	新任	富士ゼロックス(株) 研究本部 未来ワーク研究所
白鳥 則郎	再留任	東北大学 電気通信研究所
末田 直道	新任	大分大学 工学部 知能情報システム工学科

杉本 謙二	新任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
鈴木 宏昭	留任	青山学院大学 文学部 教育学科
住田 一男	留任	(株) 東芝研究開発センター 知識メディアラボラトリ
園田 隆志	留任	富士ゼロックス(株) 研究本部 未来ワーク研究所
竹内 章	新任	九州工業大学 情報工学部 知能情報工学科
棚橋 純一	再留任	中京大学 情報科学部
辻 秀一	新任	東海大学 電子情報学部 情報メディア学科
辻井 潤一	留任	東京大学 大学院 理学系研究科 情報科学専攻
富田 悦次	留任	電気通信大学 電気通信学部 情報通信工学科
中島 克人	新任	東京電機大学 工学部 情報メディア学科
中島 秀之	再留任	公立はこだて未来大学
中野 良平	再留任	名古屋工業大学 知能情報システム学科
新田 克己	再任	東京工業大学 大学院 総合理工学研究科
新田 恒雄	再任	豊橋技術科学大学 大学院 工学研究科
沼尾 雅之	留任	日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所 先進IT'リング'アナリス担当
萩田 紀博	再留任	(株) 国際電気通信基礎技術研究所 メディア情報学研究所
橋田 浩一	留任	産業技術総合研究所 サイバーアシスト研究センター
長谷川 隆三	留任	九州大学 大学院 システム情報科学研究科 知能システム学専攻
馬場口 登	留任	大阪大学 大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻
原 潔	再留任	日本ユニシス(株) Eサービスシステム部
原口 誠	再留任	北海道大学 大学院 工学研究科 電子情報工学専攻
平井 和雄	再留任	(株) ホンダエレス
平川 秀樹	新任	(株) 東芝研究開発センター 知識メディアラボラトリ
平山 勝敏	新任	神戸大学 海事科学部
福島 俊一	再任	日本電気(株) ヒューマンメディア研究所
藤田 悟	新任	日本電気(株) インターネットシステム研究所
古川 康一	留任	慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科
前田 章	新任	(株) 日立製作所 システム開発研究所
牧 秀行	再任	(株) 日立製作所 システム開発研究所 第1部
間瀬 健二	新任	名古屋大学 情報連携基盤センター
松本 裕治	留任	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
丸山 文宏	留任	(株) 富士通研究所 ソリューション研究開発室 CRM研究部
宮野 悟	留任	東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター
毛利 友治	新任	(株) 富士通研究所 特許推進部
森田 幸伯	新任	沖電気工業(株) 研究開発本部
安信 千津子	再任	(株) 日立製作所 ビジネスソリューション事業部
矢田 勝俊	留任	関西大学 商学部
山之内 徹	新任	日本電気(株) インターネットシステム研究所
鷺尾 隆	再留任	大阪大学 産業科学研究所 知能システム科学研究部門
渡部 勇	新任	(株) 富士通研究所 情報社会科学研究所
渡辺 崇	新任	名古屋大学 情報文化学部

(五十音順, 敬称略)

留任	52名	内訳(昨年度)	大学関係: 50名(52名)
新任	23名		国立機関: 05名(06名)
再任	10名		企業関係: 30名(29名)
合計	85名		合計: 85名(87名)